やまびこ芸能祭

６月９日、**第２０回やまびこ芸能祭**が奥物部ふれあいプラザで開催され、民踊、舞踊、社交ダンス、歌などが発表されました。

大栃保育園児の元気なダンスをはじめ、国の重要無形民俗文化財に指定されているいざなぎ流ご祈祷の『いざなぎ流舞神楽』や、地元の伝承芸能である『根木屋太刀踊り』が各保存会の伝承生により披露されました。

当日は雨にもかかわらず、会場は約２００人もの観客で熱気と歓声につつまれ、２０回の節目を盛大に催すことができました。

社会を明るくする運動

第６８回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、７月２日に中央公民館で同運動推進委員会主催の決起集会が開かれ、約２５０人が参加しました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会終了後には、溝渕紀夫指導員による講演や高知県警察音楽隊による演奏会と並行して、広報車での巡回が行われ、運動への理解を呼びかけました。

繁藤慰霊祭

７月５日、**第４７回繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭**が、哀悼の広場（土佐山田町角茂谷）で行われました。

慰霊祭に先立ち、香長小学校の児童と鏡野中学校の生徒たちが折った千羽鶴が供えられ、慰霊祭には遺族や関係者ら約８０人が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。

繁藤災害は昭和４７年７月５日、豪雨による追廻山の崩壊で生き埋めとなった消防団員の救助活動中に、大きな山崩れが発生した大災害です。新改川で流されて亡くなった１名と合わせ６１名の方が犠牲となりました。

はっけよい！白熱小学生相撲大会

６月２日に美良布多目的運動広場相撲場を会場に、**第１３回香美市小学校相撲大会**が開催されました。

市内の小学生１２１人が参加し、団体戦と個人戦で熱戦が繰り広げられました。団体戦の優勝は山田Aチームでした。また、個人戦各学年の優勝者は次の通りです。

１年	西岡快莉（山田）	４年	濵口兼臣（舟入）
２年	今久保明奈（片地）	５年	尾﨑由唯（楠目）
３年	岡林大翔（山田）	６年	和田優太（大宮）

北の大地で絆の踊り

▲札幌市内で踊る香美市の踊り子

第２７回ＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭りが、６月６日から５日間、札幌市で開催され、大勢の観客でにぎわいました。

香美市からは踊り子隊と訪問団総勢３４人が参加しました。今年も姉妹都市積丹町と**ヤーレンソーラン積丹町＆香美市**※を結成し、９・１０日の両日に大通公園など札幌市内の会場で繰り広げられた本祭に、２４年連続での出場を果たしました。

高知県のよさこい鳴子踊りと積丹町発祥の民謡ソーラン節を融合させた楽曲に合わせて踊りを披露し、また、今回はふるさと納税の基金で購入したフラフ２本を初めて演舞に使用し、よさこい本家をアピールしました。

※香美市２７人・積丹町３６人の総勢６３人の踊り子が参加。

移住サポーターに任命

▲任命された前田さん（左）と西村さん（右）

高知県地域移住サポーターに、前田幸利さんと西村剛治さんが県から委嘱されました。

移住サポーターとは、高知県への移住を希望している方や移住してきた方へ、県や市と連携して地域情報の提供や住民としてのアドバイス等を行っていただくものです。

前田さんはUターン、西村さんはＩターンで香美市へ移住された方です。

香美市への移住者の受け入れや定住支援に向けた今後の活動にご期待します。

香美市の味覚 北海道へ

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となり、毎年行われている積丹町への訪問・交流事業（６月２３～２５日）で、１５人の訪問団が積丹町を訪れました。

札幌市内からも多くの観光客が訪れる**味覚祭り**には、今年で２２回目の参加となりました。とれたてのウニ・エビなどが入った直径1.5ｍの大鍋で作る浜鍋など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめるお祭りで、夜間は納涼祭や打ち上げ花火が行われるなど大変な盛り上がりとなりました。

今年から新たな試みで、かつおのわら焼きタタキの実演を行いました。盛大に炎を上げる豪快な調理に、見物客から拍手がわき、かつおのタタキ販売ブースは行列ができる盛況ぶりでした。

グラウンド・ゴルフ交歓大会

5月２４日に土佐山田スタジアムで**第３７回グラウンド・ゴルフ交歓大会**が開催されました。

県内各地から３１チーム２０９人の参加があり、青空の下、愛好者が３２ホールを楽しみ、交流を深めました。

当日は２５０回余りのホールインワンがあり、各ホールで歓声があがりました。